

今年度の

議会運営委員会所管事務調査報告

～議会の活性化に目を向けて～



大洗町議会の議場を見学

平成30年度議会運営委員会（長田守弘委員長）の研修は5月8日（火）・9日（水）、茨城県の大洗町と美浦村において実施しました。今回の視察研修の主なテーマについては議会報告会の実施内容についてや、議会としてのパーパールの取組みについて視察調査しました。大洗町では、議会報告会を予算・決算議会（3月・9月）終了後開催し、町民から意見を聴いた内容を議員それぞれで検

議会運営委員会研修

討・調査し、12月定例会において執行に提案していくものでした。

美浦村では、議会としてのパーパールの取組みとして、タブレットを導入しています。情報システムの最適化を行政全体で目指したもので、議会もその中で取組み、議案書などの紙配付を全廃する完全パーパレス化を実現していました。今回の調査研修内容を今後の参考とし、引き続き研究して参ります。



美浦村議会と意見交換

特別功労者・自治功労者で県表彰受賞

6月4日開催の福島県町村議会議長会平成30年度定期総会において表彰を受けた特別功労者及び自治功労者表彰の伝達式が第12回定例会に先立ち行われました。

特別功労者については、町村議会議員として20年以上在職したとして、今泉文克議員と木原秀男議員が、また、自治功労者については、議長として6年以上在職したとして渡辺定己議長がこのたび表彰されたものです。

おめでとうございます。



特別功労賞表彰 今泉・木原議員



自治功労賞表彰 渡辺議長

一般質問

- 「かんかんてらす」の運営状況について
- 農業政策としての補助金制度と耕作放棄地対策について
- 町長の政治姿勢について



菊地 洋議員

質問
オープンからの来館者と売り上げの状況はどのようになっているのか。

産業課副課長
5月16日（水）オープン以来、5月末現在の来館者数は約3,900人、1日平均約240人、売上は、16日間16万円、1日当たり約7万2千円です。

質問
オープン後の諸課題はあるのか。

産業課副課長
物販時間の延長と町外からの車の案内表示板の設置、駅利用者との送迎時における駅前ロータリーの混雑緩和対策などがあります。

質問
今後の運営方針と活用方法はどのように考えているのか。

町長
町の観光・交流拠点として観光資源である「田んぼアート」、鳥見山公園、岩瀬牧場

など、まちなか周遊を促し、6次化商品開発や創業支援などにより賑わいの創出につなげて参ります。

質問
農業政策としての飼料用米の作付状況と農家への補助金はどのようになっているのか。

産業課副課長
平成30年から主食用米作付の生産数量目標が廃止されましたが、作付状況は、平成29年84名68haから、平成30年67名52haで17名、15haの減となりましたが、主食用米の作付面積は逆に5ha増加しました。補助金は、国の水田活用直接支払交付金が10a当たり最大10万5千円、産地交付金県域枠が9千円から1万2千円、産地交付金地域枠が5千円、町単独が千円から3千円となっており、一般品種の合計で10a当たり、9千5百円、多収品種で最大12万5千円となっています。

質問
農業従事者の高齢化と新規就農者の実態はどうなっているのか。

産業課副課長
農業経営者の平均年齢は、61.5歳で県内2番目に若い状況です。新規就農者は、平成25年度1名、26・27年度は0名、28年度2名、29年度は3名です。

質問
町の耕作放棄地の現状は。

産業課副課長
平成27年度64.6ha、28年度68.0ha、29年度71.8haとなつていきます。内訳は田んぼ6割、畑4割です。対策として「農地再生プロジェクト」をスタートさせました。

都市建設課長
道路配置計画は、都市計画道路2路線、区画道路23路線、歩行者専用道路4路線で総延

質問
土地規制の状況と建築可能な建物及び先行取得土地の活用はどのようになっているのか。

町長
土地規制は、県道成田鏡田線沿線を準住居地域、その北側の構造改善センター付近を第一種中高層住居専用地域に指定しています。先行取得土地は、公共公益施設用地として、（仮称）健康福祉センターを建設予定しています。

質問
上下水道課長
浄水場の用地買収等を含めて約50億円と試算しています。料金改定は、給水人口の減少や節水型社会により必要不可欠であると考えています。

質問
町長の政治姿勢として、駅東第1土地区画整理事業第3工区の道路配置計画をどのように考えているのか。